

週間漁海況情報 2020年第4号

令和2年1月28日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

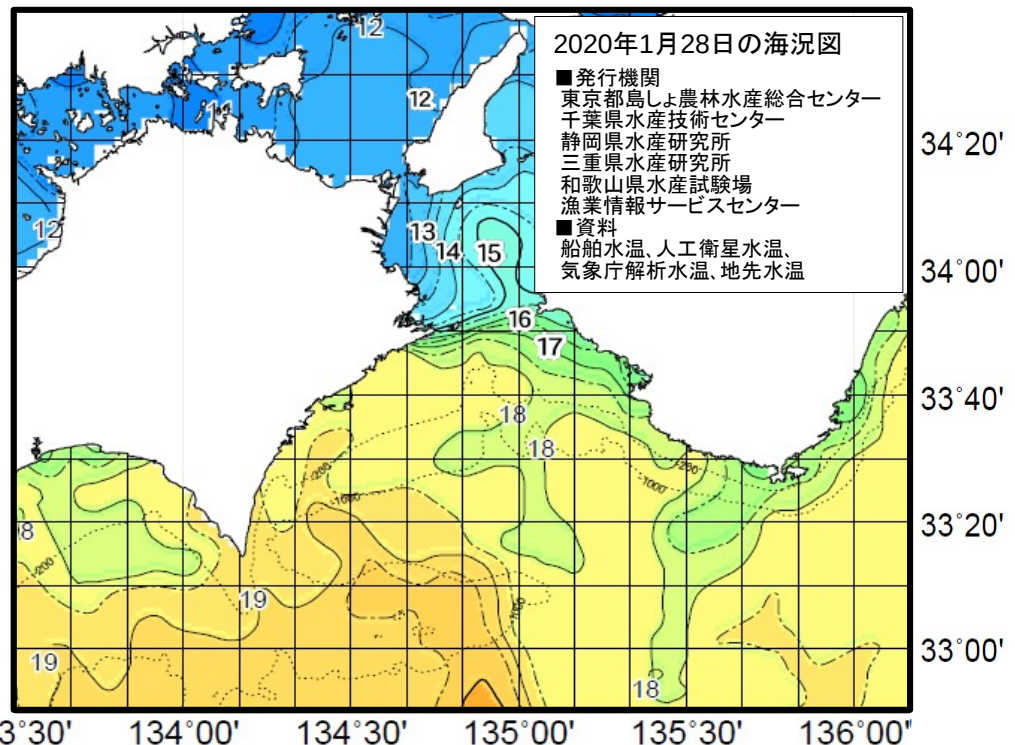
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖を「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖を「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は20℃～22℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘は12℃台、紀伊水道は徳島側12℃～14℃台/和歌山側14℃～15℃台、海部沿岸は15℃～18℃台となっている。

海部沿岸には外洋系暖水波及が続いており、内海系冷水と外洋系暖水の境界は蒲生田岬付近にある模様。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

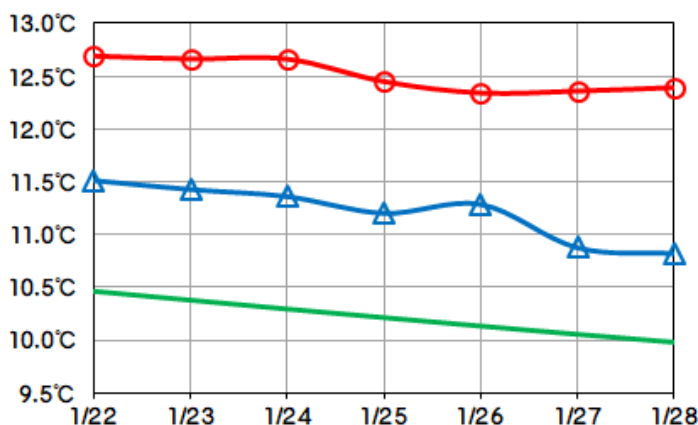
2. 地先水温(2020年1月22日～1月28日)

鳴門地区の水温は「高め」の12.7℃～12.4℃で推移した。

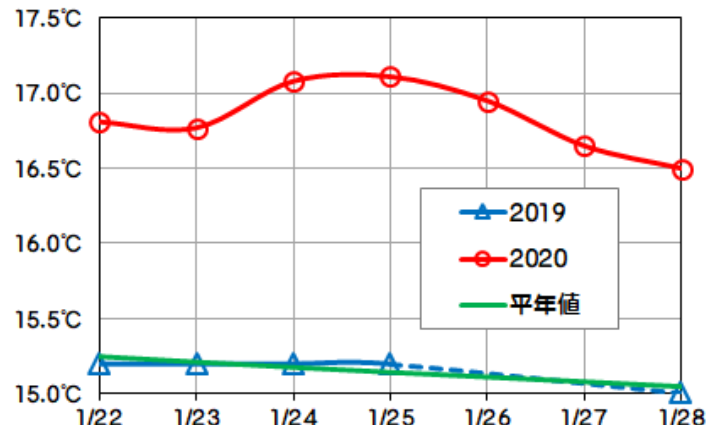
日和佐地区の水温は「やや高め」～「高め」の17.1℃～16.5℃で推移した。

牟岐、浅川の地先水温は18℃台となる日もあるなど、「高め」～「かなり高め」で推移している。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(1月29日～2月4日)

鳴門地区の水温、日和佐地区の水温はともに「やや高め」～「高め」で推移する見込み。

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

漁況 2020 年1月20日～1月26日

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

延縄では、ブリが増えてめじろ級主体に0.5ト、タチウオが減って0.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って小主体に0.6ト、ブリがつばす級主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが減って大主体に1.2ト、えそ類が減って0.6ト、モンゴウイカが大きく減って0.3ト、ケンサキイカが大きく減って小主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが大きく減って0.8ト、キハダが増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、メジナが大きく増えて0.6ト、カタクチイワシが増えて0.4ト、マアジが小主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが増えて中主体に1.9ト、マアジが小主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	20	ブリ	491	25	めじろ級主体	↗
		27	タチウオ	384	14		↘
	建網	23	カワハギ	405	18	大主体	↗
	小型定置網	19	マアジ	609	32	小小主体	↘↘
		15	ブリ	508	34	つばす級主体	→
	底びき網	39	コウイカ	1,223	31	大主体	↘
		29	えそ類	607	21		↘
		34	モンゴウイカ	335	10		↘↘
		31	ケンサキイカ	222	7	小主体	↘↘
	海部沿岸	釣り	8	タチウオ	813	102	
5			キハダ	200	40		↗
延縄		8	キダイ	308	38	大主体	↘↘
小型定置網		15	メジナ	620	41		↗↗
		10	カタクチイワシ	362	36		↗
		12	マアジ	254	21	小小主体	→
大型定置網		7	マサバ	1,941	277	中主体	↗
			マアジ	207	30	小小主体	→

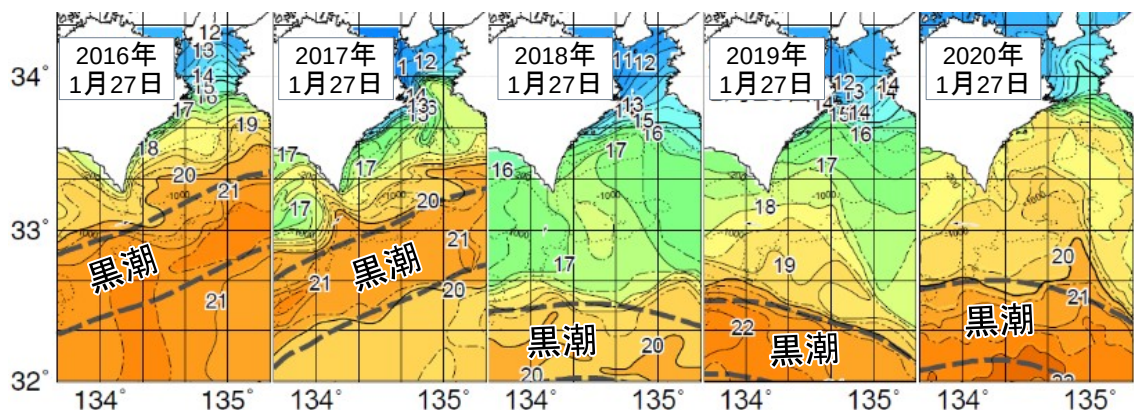
※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘

暖水波及が続く海部沿岸

いつも週間漁海況情報をご利用いただきありがとうございます。

徳島県沿岸は水温が平年より高い状態が続いています。暖冬もひとつの要因ですが、特に海部沿岸では、外洋からの暖水波及が大きな影響を与えています。下の図は直近5年の1月27日の海況図を並べたものです。

2020年以外は、程度の差はありますが、内海系冷水と外洋系暖水の境界の目安となる等温線密集帯が海部沿岸に沿うような形で存在しますが、2020年には南からの暖水波及に押されて蒲生田岬付近まで北上しています。



2017年夏以降、黒潮はおおむね離岸して流れています。